

【ご参考】

【公益財団法人イオン環境財団について】

当財団は「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、1990年に設立。以来、環境活動に取り組む団体への助成・支援、国内外での植樹活動、生物多様性の保全などに貢献した団体・個人への顕彰、環境人材育成のための環境教育を主な事業として、さまざまな環境・社会貢献活動に継続し取り組んでいます。

<公益財団法人イオン環境財団ホームページ> <http://www.aeon.info/ef/>

【ミャンマーにおけるイオンの環境・社会貢献活動について】

■「ミャンマー ヤンゴン植樹」

公益財団法人イオン環境財団は、2013年～2015年の3年間、ヤンゴン市郊外にあるフージー湖で、さらに2016年～2017年の2年間、同市郊外のローガー湖でミャンマーと日本のボランティアのべ4,900名の皆さまと累計47,000本を植樹しました。



2013年フージー湖



2017年ローガー湖

■学校建設支援事業

「平和な社会の実現には基礎教育の充実が不可欠」という想いのもと、公益財団法人イオンワンパーセントクラブは2012年より、ミャンマーの学校建設を支援しています。

全国からお寄せいただいた募金と同財団からの拠出金により、これまで計49校の建設を支援しました。



日本からの交流会参加者と縄とびをする子どもたち

■ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、1990年より日本と海外の高校生が互いの国を訪問し、相互交流することで価値観の多様性を学ぶ「ティーンエイジアンバサダー事業」を行っています。これまでにミャンマーを含む18カ国2,470名が参加しました。2009年には同窓会を実施し、国々をつなぐ友好の輪が広がっています。

■「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは2010年より、ミャンマー、カンボジアラオスの子どもたちへ安全な水を届けるために、子どもたちがくらす町や村に給水施設を設置する支援を行っています。全国からお寄せいただいた募金と同財団からの拠出金が、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じ、安全な水の供給や給水施設の設置に役立てられています。2018年3月時点で約50万9,000人が安全な水を使えるようになりました。

■イオンの奨学金「イオン スカラシップ」

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、給付型奨学金制度「イオン スカラシップ」を通じ、アジアの学生および日本で学ぶアジアからの私費留学生の夢の実現を支援しています。ミャンマーにおいては、2014年度よりヤンゴン経済大学とヤンゴン外国語大学への支援を開始し、これまでのべ357名の同国学生に支援を行っています。